

ムダにムダを重ねる徳山ダム「導水路」はいらない！

## 導水路はいらない！愛知の会

会報16号-1

2012年11月03日

〒467-0853

名古屋市瑞穂区内浜町1-15

加藤伸久方

TEL/FAX 052-811-8069

URL: <http://www.dousuiro-aichi.org/>

—原告・被告の代理人が証人喚問の方法、裁判の争点を協議の「進行協議」開催！—

### 原告側は“新規利水・正常流量とも「導水路」は不要”と陳述

提訴（2009年6月）から丸3年、15回にわたる口頭弁論で双方の主張はほぼ出尽くし、証人尋問をどうするか段階にさしかかりましたが、4月に着任の福井裁判長のもと、今後の裁判の流れについて協議を深める進行協議が行われました。

第1回進行協議は6月26日（火）に開催。双方が互いに本件裁判のスタンスを開陳しました。なお、原告側は、裁判所に提訴理由を深く理解いただくよう、「上申書」（別冊収録）を提出。続く9月25日（火）に開催の第2回進行協議の場で、「新規利水の必要性がないこと—愛知用水地域の水需想定」（同収録）、及び「正常流量の問題点について」（同収録）を用いて、「導水路」は不要と完璧なまでに陳述しました。



併せて、被告側喚問の愛知県土地水資源課 中根俊樹 主幹について人証申請と尋問事項書（同収録）、専門家証人・山内克典 岐阜大名誉教授の陳述書（同収録）を提出しました。

### “被告・愛知県は撤退権を持ちながら支出義務がある”と頑迷に強弁！

被告・愛知県はこれに対し、県民意識と全く異次元の「木曾川水系連絡導水路事業公金差止請求事件における争点について」（同収録）を提出、陳述しました。



冒頭、著しく合理性を欠いていて予算執行の適正確保の見地から看過できない事業実施計画の瑕疵や財政法規違反があり、支出は違法とする差止請求は“独自の見解”かつ“失当”と決めつけました。

また、撤退権があるのに、法令に基づいて（「木曾川水系フルプラン」「同河川整備基本方針」「同河川整備計画」「連絡導水路事業実施計画」）、県に支出義務があると主張しています。

まったくもって、県民が生活の現実フィールドと乖離しています。県民の意識は“必要のない「事業」には税金を投入すべきでない、撤退すべき”です。それが常識です。

- P1 ……「進行協議」の場で、原告・被告の代理人が、証人喚問の方法・争点を陳述  
P2～3 …… **投稿** 川辺川ダム「勝利集会」&撤去間近「荒瀬ダム」を訪ねて 加藤 伸久共同代表  
P4 ……ダム・水に関わる「新聞」スクラップ（名古屋市水道局「地下水利用で約8億減収」他）  
P5～6 ……ブックレット・書籍の案内、裁判傍聴&イベント参加のお願い

#### ◇ 第3回進行協議に積極参加を！（注、原告のみ参加が可能です）

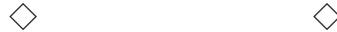
- ◆とき 11月27日（火）午後2時30分～（※午後2時～2時15分・裁判所庁舎1階ロビー集合）
- ◆ところ 事務棟（裁判所庁舎・東側部分）・第411号審尋室
- ◆協議内容 ① 証人尋問をどうするか協議（尋問時間の確認・検討）  
② 大要＜撤退は愛知県の“裁量権”、法令「撤退ルール」で可能＞との準備書面を提出

8月18日（土）開催の「川辺川ダム反対運動勝利集会」に参加し、併せて撤去工事前の荒瀬ダムを見学したく、長良川市民学習会・事務局長の武藤さんと熊本県に行ってきました。



主催 川辺川現地調査実行委員会

川辺川ダムの建設中止は、ダムによる国策に対して、ダムによらない治水・利水に向け大きく舵を切らせようとしています。また、熊本県に対しても荒瀬ダム撤去や五木ダム中止と、確実に脱ダム政策をとらせています。なぜ、川辺川ダム反対や荒瀬ダム撤去の運動は勝利したのか？かねてから現地に行ってみたくて思っていました。



「集会」は、相良村体育館で開かれました。会場は開会前から、真夏の太陽の下で労働した日焼け顔の市民が約200名で一杯です。

第1部の勝利集会では、これまで川辺川ダム反対運動に関わってきた、研究者、弁護士、僧侶、農民、漁民、水害体験者、アウトドア派、等々それぞれダムに反対する理由は異なっていますが、“みんなの力で勝ち取ったものは、みんな喜びたい”と力強くスピーチしました。



第2部は、3人のパネラーによるシンポジウムです。最初のパネラーは、反対運動を共にする中から「まともな学者」の在り様を実践的に見出そうとしてきた、中島 八郎・熊本県立大学名誉教授です。

中島名誉教授は、川辺川ダム反対運動の最終勝利は、① 「ダム無し」治水対策の実現 ② 国の責任で農業用水の改修・活用、畑地灌漑の実現など “身の丈にあった” 利水事業の実現 ③ 半世紀以上にわたってダムに翻弄されてきた五木村の再生・復興 と語りかけました。



続くパネラーは、川辺川利水訴訟・弁護団長の板井 優弁護士です。板井弁護士が力説したのは、2012年3月に閣議決定・国会上程された、五木村の生活再建をモデルの「ダム事業の廃止に伴う特定地域の振興に関する特別措置法案」を活用しての地域振興策です。

ところが、6月に前田国交大臣（当時）が更迭されるという内閣改造と、消費税引き上げ法案をめぐる与野三党のゴタゴタ騒ぎから、国会会期を9月に大幅延期という中でも法案は不成立となりました。



最後のパネラーは、これまで長期にわたってダム問題に翻弄され、今なお混迷している球磨川の上流部・五木村の木下 丈二副村長です。

副村長は穏やかな口調で、“ダム建設事業が宙に浮いた状況のなか、40数年かけ議論し、県・国と交わした約束は一体何であったのか。約束を果たせない責任は、誰がどのように取れるのか” “今後は今までと逆に、人口増加と産業振興を図ることになるが、その柱は「三者合意」による村の再生振興” “小さくても光り輝く村に立て直したい” との生々しいお話に、参加者は深く聞き入り、会場は身の引き締まる雰囲気になりました。

8/19 読売新聞朝刊・熊本南版



夜の「勝利祝賀会」（懇親会）は、“お恐れ多くも畏くも” 国宝青井阿蘇神社（人吉市）



の参集殿に約 50 人が駆けつけて行われました。

祝賀会は、初対面の私どもを輪に加え、まるで全国各地の脱ダム運動の同志が集う“決起集会”の様相です。

懇親会出席者は、差し入れの手作り料理に舌鼓を打ち、地酒や焼酎の杯を重ねるごとに、ここでしか話せない“武勇伝”や、団体間の誤解や内輪もめ、例会に人が集まらないなどの“苦労話”、はては世界情勢から地域社会まで、夜の更けるのも忘れて大いに盛り上がりました。



翌 19 日（日）は、川辺川ダム問題と環境問題に取り組む“市民運動の担い手” つる 詳子さん（自然観察指導員熊本県連絡会副会長）が作成の小冊子「荒瀬ダム問題と球磨川の再生」（詳しい情報は、つる 詳子さんのブログ <http://kumagawa-yatusirokai.cocolog-nifty.com/> を参照のこと）をテキストに、“ダムのない清流”川辺川ダムと、“ダムがある急流”球磨川を上流から八代海河口までの現地見学ツアーです。

川辺川中流域のダム建設予定地付近は谷も深く、手つかずの自然の河川の形態そのままです。環境省の水質日本一にも認定される清流・川辺川の水量が実質、球磨川を支えています。



次は、球磨川上流にある市房ダム（所有者：熊本県、洪水調整・灌漑・発電を目的に 1959 年完成）で、ダムの放水が下流の水害を大きくし、球磨川の清流をなくしました。



春には桜の名所として名高い市房ダムも汚れはすごく、2003 年 9 月には水質改善を目的に、高さ約 80 ㎝の大噴水装置が設置されました。

車は川下の瀬戸石ダム（所有者：J-POWER、発電を目的に 1958 年完成、2014 年に水利権の更新期限を迎える）へ到着しました。河口に近い荒瀬ダム（約 7 ㎞上流）に隠れて注目度は低いものの、現地へ行けば一目瞭然。荒瀬ダムと連携して、ダム湖の水面上昇で水害をまねき、魚族の遡上を阻害、ダム湖一面に広がるアオコによる水質悪化など、大きな問題を抱えています。



さらに車は、川下の荒瀬ダムへ向かいます。荒瀬ダムは、今回見学ツアーのメインです。日本初のダム撤去工事（9 月に予定）を前に、ダムゲートは全面開放。ダムサイトから放流現場を見上げると、滝の如く流れ落ちる水流は轟音を奏で、生じた風に煽られた水飛沫は遠く離れた見学者の顔や足下へ飛び散ります。

感動的で、武者震いにちかいかいものを覚えます。頭の中では突然、長良河口堰の開門がシュミレーションされます。

ゲート全開に伴いダム湖は消滅、蛇行した流れが生じていました。私たちが出向いた上流の支流では、川遊びが出来る瀬と砂地が出現していました。



ツアー終点は、球磨川河口・不知火海の干潟です。河口の堤防越しに見渡す限りの泥干潟には砂が供給され、遠浅のはるか彼方で、漁にあたる小舟が遠望できました。

ゲート開放は、確実に球磨川の水環境を改善しています。地元では、川辺川ダム反対運動や荒瀬ダム撤去運動に引き続き、市房ダム・瀬戸石ダムを撤去し、流域の森林再生に取り組み、球磨川再生に挑戦しています。現地の人々から“元気をいただいた”ツアーでした。

# ダム長命化時代 注目の撤去作業

## 清流復活の兆し 熊本・荒瀬ダム

大型ダムとしては全国で初めての撤去作業が、日本三大急流の一大流れ、球磨川で進められている。1955年建設の「熊本県荒瀬ダム」(八代市)。県は作業に伴う水質への影響など膨大な環境データを収集・分析しながら清流の復活を目指す。各地のコンクリート型ダムは、長年の間にたまった泥土や土砂を取り除き「長寿命化」をどう図るかが課題となっており、荒瀬ダム撤去の技術が生かせるのではと専門家は期待する。

【取材側、写真も】

県は荒瀬ダムの上流で水質の改善、動植物の生態がとどまるのを期に、撤去作業を進めている。ダム建設時に、川をせき止める鉄板の撤去が進む荒瀬ダム

撤去作業は、ダムの上流で水質の改善、動植物の生態がとどまるのを期に、撤去作業を進めている。ダム建設時に、川をせき止める鉄板の撤去が進む荒瀬ダム



撤去が進む荒瀬ダム

県は荒瀬ダムの上流で水質の改善、動植物の生態がとどまるのを期に、撤去作業を進めている。ダム建設時に、川をせき止める鉄板の撤去が進む荒瀬ダム

撤去作業は、ダムの上流で水質の改善、動植物の生態がとどまるのを期に、撤去作業を進めている。ダム建設時に、川をせき止める鉄板の撤去が進む荒瀬ダム

撤去作業は、ダムの上流で水質の改善、動植物の生態がとどまるのを期に、撤去作業を進めている。ダム建設時に、川をせき止める鉄板の撤去が進む荒瀬ダム

撤去作業は、ダムの上流で水質の改善、動植物の生態がとどまるのを期に、撤去作業を進めている。ダム建設時に、川をせき止める鉄板の撤去が進む荒瀬ダム

### 環境

今年目、8枚ある水門の鉄板の取り外しが始まり、ダムは撤去作業に入った。1枚の重量は約10トン、16分間かけて吊り上げ、トラックで運搬する。作業員がカッターで鉄板を切断し、大型クレーンで吊り上げた。ダム本体の解体は、この鉄板の取り外しから始まる。18年間に撤去作業をする計画だ。

の2年、地元の家木村(頭八代市)が既に懸念した。ダムが撤去される前は球磨川には毎年約5万匹ともいわれるアユが遡上していたが、ダム建設後、ダム湖にベドロがたまり、アユの遡上が激減した。県は10年間にわたる調査の結果、企業による排水もアユの減少の一因だと判断した。



撤去作業は、ダムの上流で水質の改善、動植物の生態がとどまるのを期に、撤去作業を進めている。ダム建設時に、川をせき止める鉄板の撤去が進む荒瀬ダム

撤去作業は、ダムの上流で水質の改善、動植物の生態がとどまるのを期に、撤去作業を進めている。ダム建設時に、川をせき止める鉄板の撤去が進む荒瀬ダム

### 水道事業

## 節水で過剰投資を防げ

経費などの節電が効果をおいている。7月は全国で前年から12%余の節電効果が認められた。電力会社は、節電を呼びかけた。節電の効果は、電力会社の利益に直結する。電力会社は、節電を呼びかけた。節電の効果は、電力会社の利益に直結する。

節水で過剰投資を防げ。節水は、水道事業の利益に直結する。水道事業は、節水を呼びかけた。節水は、水道事業の利益に直結する。

節水で過剰投資を防げ。節水は、水道事業の利益に直結する。水道事業は、節水を呼びかけた。節水は、水道事業の利益に直結する。

## 地下水利用 ああ7億9000万円分

名古屋市内の観光客、観光客に地下水の利用を呼びかける。地下水の利用は、観光客にとって重要な要素の一つである。地下水の利用は、観光客にとって重要な要素の一つである。

名古屋市内の観光客、観光客に地下水の利用を呼びかける。地下水の利用は、観光客にとって重要な要素の一つである。地下水の利用は、観光客にとって重要な要素の一つである。

地下水利用の現状。地下水の利用は、観光客にとって重要な要素の一つである。地下水の利用は、観光客にとって重要な要素の一つである。

地下水利用の現状。地下水の利用は、観光客にとって重要な要素の一つである。地下水の利用は、観光客にとって重要な要素の一つである。

地下水利用の現状。地下水の利用は、観光客にとって重要な要素の一つである。地下水の利用は、観光客にとって重要な要素の一つである。

## ◆◆◆フックレット・書籍のご案内◆◆◆

—大好評・発売中！ <風媒社刊> 68ページ・定価 630円（消費税込み）

中谷雄二・近藤ゆり子著 「これでわかる！秘密保全法の本物のヒミツ」

<問い合わせ先：愛知県弁護士会（052-203-1651、HP <http://aiben.jp/top.html>）>



「導水路」裁判においても、「情報公開法」に基づいて関係資料を開示請求することで入手できます。ムダな公共事業の違法性を立証する証拠資料はとても重要です。

書評……濱嶋 将周 弁護士

（「秘密保全法に反対する愛知の会」事務局長・「導水路」裁判弁護団）

分量も値段もお手頃なブックレット。秘密保全法制のネライは？秘密保全法が成立した後にどんな世の中になるか？政府が教えてくれない本当のところを、過去から現在に至る日本や諸外国の実例を分析して、分かりやすく教えてくれます。是非ご一読ください。

—官僚も、ジャーナリズムも、そして裁判所までが！ 東京図書出版発行>—

元朝日新聞記者 吉竹幸則著「報道弾圧」346ページ・定価（本体1600円＋税）

<問い合わせ先：東京図書出版（TEL 03-3823-9170、FAX 0120-41-8080）>



著者は1987年以来「河口堰」報道に携わり、取材の結果、堰建設の根拠を疑わせるデータを得るが、繰り返しの要請にも関わらず、配置換え・転勤などにあい、肝心の記事は何年も棚ざらし……

著者は2008年、報道権を奪った会社に対し、謝罪措置と損害賠償を求めて提訴するも、著者曰く“デッチ上げ判決”で敗訴した。

書評……田中 萬壽 運営委員

著者はこの本で、20年にわたった無念の想いを、“建設省の闇”、“朝日の闇”、“裁判所の闇”などの3部で詳述。建設から18年を経て、昨年からは愛知県が開門調査委員会を設置し、環境改善に向けて検討が始まっている。検証作業に本書も貴重な役割を果たすと思われる。

—ダムがもたらす環境破壊—<花伝社発行>67ページ（定価800円＋税）

川辺川ダム問題ブックレット編集委員会……編「川辺川ダムはいらん！PART②」

<問い合わせ先：「子守の里・五木を育む清流川辺川を守る県民の会」事務局（中島宅 096-324-5762）>



清流・川辺川を未来に残そうという長年の「ダム運動」の闘いは、ダムの建設中止と利水事業の断念という大きな成果を勝ち取りました。

市民運動・自然観察指導員をつる 詳子さんによれば、

川辺川ダム運動がダム中止にむすびつくほどに広がることが出来たのは、① 流域にダムや堰が出来ると水害がひどくなること、② これ以上のダムは要らないという住民の思い、③ ダムからの水は要らないという農民④ かつてのアユや魚介類の豊富さを知っている球磨川と不知火海の漁民の強い反発があったから ということです。

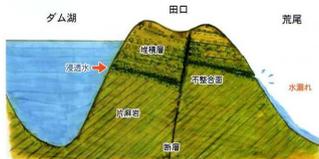
本書は、川辺川の豊かな自然と、ダムがもたらす環境破壊をわかりやすく解説したものです

◇◇◇◇裁判傍聴&イベント参加などの御願い◇◇◇◇

—総事業費3千億円のムダな「設楽ダム」は中止し、東北大震災の復旧復興に回せ!—

① 12/20(木)「設楽ダムの建設中止を求める」控訴審・第11回口頭弁論

<問合わせ先 ①・②とも「設楽ダムの建設中止を求める会」事務局(奥宮宅 0532-54-7305)>



これまで住民側が強く求めていた「現地検証」について、先の第10回口頭弁論の場において裁判官3名は別室で合議して、“不要”と答える愛知県に追随し、“実施しない”と決めました。

その上で、今後の進め方について、裁判所が資料を確認するために、もう一度口頭弁論を行うとして、結審の日程を決めました。

◆次回口頭弁論 とき・ところ：午前11時30分～ 名古屋高裁・1号大法廷

※「口頭弁論」終了後、場所を移して弁護団による報告集会(ポイントを解説)を行います

—今、身近で使いやすい“水の力(小水力発電)”に期待が高まっています!—

② 11/18(日)総会&現地見学会「馬籠小水力発電所と中津川りんご農園」

<問合わせ先：「阿寺溪谷を愛する下流市民の会」事務局(加藤宅 TEL/FAX (052) 811-8069)>

“世界一危険”な浜岡原発の廃炉と、自然・再生エネルギーの普及の旗を掲げる「阿寺の会」では、現地見学会<「馬籠小水力」(宿場の農業用水を活用)、そして中山間地の観光農業・中津川「りんご農園」>を企画しました。皆さまふるってご参加下さい!



馬籠小水力発電1号機

なお、「総会」は本見学会の往路バス車中で行います。

\*とき：11月18日(日) 午前8時30分(8時15分集合)  
～午後4時15分(帰着予定)

\*集合 名古屋市役所本庁舎前(地下鉄3番出口)・東側歩道

\*参加費 5千円(マイクロバス代・昼食代・資料代を含む)

—水郷水都全国会議は、全国の水環境を守る市民のネットワーク—

③ 雪と湧水の“縄文の里”で水環境を考える 第28回津南大会

<問合わせ先：「津南大会実行委員会」委員長(中山宅 090-4969-3777、HP <http://www.sui.sakura.ne.jp>)>



\*とき：11月24日(土)午後1時～25日(日)正午

\*会場：津南文化センター(新潟県津南町下船渡丁2806-3)  
(上越新幹線「越後湯沢駅」から送迎バス利用可)

\*内容 24日：基調講演

●「大河信濃川が育んだ縄文の里」

佐藤 雅一氏(津南町「農と縄文の体験館」学芸員)

●「川とは? 水枯れの大河・信濃川に鮭の道を拓く」

大熊 孝氏(水郷水都全国会議共同代表、新潟大学名誉教授)

24日～25日：4つに分かれての分科会

\*参加費 2千円(但し、11/25夜の「交流会」参加は5千円)